

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第28回

森の彫刻家 上床利秋



亡きご主人の遺された大きな楠を利用して創るわけだから、分断するのはいかなものか？
そこで以前から構想を抱いていた風神雷神のうちの雷神像をそのまま彫り込むことにした。木からはみ出る箇所は寄せ木にして仕上げる。スピード感と威圧感を備えた、いかにも日本的なテーマでこれまでどこにもなかった木彫作品を創ってみたい。
そうして語りつくせぬ苦労とやり



がいを全身で感じながら、約十か月かけ2mを超える大作を完成させることができた。挑戦する経験だけでも満足だと思っていたはずなのに、次第に東京でお披露目したいという気持ちが沸々と湧いて来た。そしてそれは沸騰するかのごとく強くなり、止まらなかつた。規格に制限を設けていない白日会展に出展することはできる。しかしどうやって作品を運ぶことができるだろう？
プロドライバーの運転する美術品輸送用4トン貨物トラックではケージの中に入らなかつたのである。ならば、自分で車を運転して六本木の国立

創作活動は妥協しないこと、
最後まで諦めないこと、
ありがとうの気持ちをおぼやさないことだなあ。
(前編)



新美術館まで行って直接搬入してしまえばいい。気持ちを理解してくれる友人と交代で運転すれば疲れも楽しみに変わるはず。門司からフェリーを使って行けば見える景色の変化もあつて面白そう。

ところが借りられるはずのダンパーは東京都の排ガス規制に抵触して都内に入れないという事もわかつてきた。万事休すかと諦めかけていたのだが――。
そこに、えびの市京町温泉クリニックスの後庵院長から、「もし良かったら、ランドクルーザーを使用してください。」と申し出てもらえたのだ。院長の奥様が私の勤務先の大学の教員で、困っている私のことを聞きつけてのことだった。助けに船とはこのことか。

日展会員 第一幼児教育短期大学 教授

レモン画材絵画教室 ご案内

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
②13:30～
- 月1回 第2木曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室

★ingミニセミナー〈POP文字・筆文字・絵手紙など〉
チラシ等で随時ご案内致します。

お申し込みは TEL 0995-45-1015 国分進行堂・レモン画材まで

ホームページ刷新しました。
<https://douzou.jp/>
上床利秋
このページのバックナンバーも
読むことができます。
検索